

令和2年度事業報告書

自 令和2年4月 1日
至 令和3年3月31日

1 福井県立すこやかシルバー病院における診療に関する業務

(1) 入院診療

本年度の年間延べ患者数は32,498人で、前年度に比べて208人の増(+0.9%)となった。また、1日当たりの平均患者数は89.0人で、0.8人の増となった。

(単位:人)

	R2年度		R元年度		R2-R元		R2/R元
	患者数	1日平均	患者数	1日平均	患者数	1日平均	
東病棟	16,035	43.9	15,967	43.6	68	0.3	+0.6%
西病棟	16,463	45.1	16,323	44.6	140	0.5	+1.1%
計	32,498	89.0	32,290	88.2	208	0.8	+0.9%

(2) 外来診療

本年度の年間延べ患者数は4,231人で、前年度に比べて3人の減(▲0.6%)となった。また、1日当たりの平均患者数は17.4人で、0.1人の減となった。

(単位:人)

	R2年度		R元年度		R2-R元		R2/R元
	患者数	1日平均	患者数	1日平均	患者数	1日平均	
精神科・脳神経内科、内科	4,231	17.4	4,234	17.5	▲3	▲0.1	▲0.6%
(うち初診患者数)	(483)	(2.0)	(442)	(1.8)	(41)	(0.2)	(11.1%)

(3) デイケア

本年度の年間延べ患者数は3,595人で、前年度に比べて79人の減(▲2.6%)となった。また、1日当たりの平均患者数は14.8人で、0.4人の減となった。

(単位:人)

	R2年度		R元年度		R2-R元		R2/R元
	患者数	1日平均	患者数	1日平均	患者数	1日平均	
精神科デイケア(大規模)	3,595	14.8	3,674	15.2	▲79	▲0.4	▲2.6%

(4) 電子カルテシステムの運用

令和2年3月16日から、電子カルテシステムを本稼働させたところであり、本年度は、医療情報システム管理規程、障害対策規程および障害時対応マニュアルを策定するとともに、医療情報システム委員会を立ち上げ、毎月、電子カルテの運用等の課題について検討した。本稼働以降、大きなトラブルはなく、軽微な

トラブルの発生時には、システム管理者（医療情報技師）ならびに各部署の担当者が対応している。

本システムの稼働により、病院スタッフの事務効率化が図られ、入院患者数の増加および平均在院日数の減少に貢献している。

2 福井県立すこやかシルバー病院の維持管理に関する業務

施設、設備および備品の機能と環境を良好に維持するため、日常点検、保守および法定の環境測定等の保守管理業務を実施した。

3 事業の企画および実施に関する業務

(1) 介護教育事業

県内の認知症高齢者に関する中核機関として、地域の医療、保健、福祉の水準の向上を図るため、認知症に関する介護教育研修を実施した。

① 認知症高齢者に係る介護教育および研修に関する業務

ア 全県応募型研修（一般コース）

認知症に関する知識の普及・啓発を進めるため、一般県民を対象に研修を実施した。

	研修日	研修内容	参加者
1	9/11	認知症高齢者の食事援助	3人
2	9/16	心も体も元気に健康に～認知症の理解、予防、支援～	0人
3	9/18	認知症の基礎知識と対応のポイント	5人
4	9/24	介護によるストレスを軽減するために	5人
5	10/2	認知症の方とのコミュニケーション	7人
6	10/6	認知症の基礎知識と対応のポイント	7人
7	10/7	脳を活性化させよう	8人
8	10/29	認知症に関する制度と専門病院受診方法	13人
9	10/30	レビー小体型認知症の方の介護	11人
10	11/2	認知症の方のBPSDを理解する	12人
11	11/5	高齢者の運転免許更新の流れ	1人
12	11/12	介護によるストレスを軽減するために	8人
13	11/13	当院の食事提供について～食べやすい食事の工夫～	6人
14	11/19	認知症を予防するための基礎知識	6人
15	11/20	心も体も元気に健康に～認知症の理解、予防、支援～	7人
16	11/26	認知症の方の症状悪化の原因を考える	9人
17	11/27	認知症の基礎知識と対応のポイント	6人
18	12/1	認知症の基礎知識（医師の講義）	8人
19	12/3	地域包括支援センター、介護保険施設の機能について	2人
20	12/4	認知症高齢者の食事援助	8人
21	12/8	脳を活性化させよう	8人
22	12/11	認知症高齢者の排泄援助	6人
23	12/18	認知症の基礎知識と対応のポイント	7人
24	2/12	認知症の基礎知識と対応のポイント	4人

	研修日	研修内容	参加者
25	2/17	高齢者の運転免許更新の流れ	2人
26	2/24	心も体も元気に健康に～認知症の理解、予防、支援～	4人
27	3/5	認知症の進行段階別症状と対応	10人
28	3/9	認知症の基礎知識と対応のポイント	2人
29	3/19	脳を活性化させよう	5人
30	3/26	認知症高齢者の口腔ケア	5人
計			185人

イ 専門職教育研修（施設職員コース）

認知症高齢者と関わる上で、必要な専門的知識、技術の普及・啓発を進めるため、老人福祉施設や介護保険施設職員等の専門職を対象に研修を実施した。

	研修日	研修内容	参加者
1	9/1	専門職研修1「認知症の人の困りごとを知る」	6人
2	9/9	専門職研修2「介護職員のメンタルヘルス ～バーンアウトを知る～」	中止
3	9/25	専門職研修3「高齢のうつ病の方のケア」	11人
4	9/30	専門職研修4「認知症高齢者の終末期ケア」	13人
5	10/9 2/26	専門職研修5「認知症を生きる人との対話」	16人 中止
6	10/15 10/16	専門職研修6「認知症高齢者の食支援アプローチ」	19人 6人
7	10/21 3/31	専門職研修7「認知症高齢者の転倒予防」	21人 14人
8	10/23 10/24	専門職研修8「優しさを伝えるケア技術 ユマニチュード®」	26人 27人
9	12/22	専門職研修9「身体拘束廃止の課題と実践」	23人
10	12/23 3/2	専門職研修10「認知症の方とのコミュニケーション」	22人 16人
11	2/19	専門職研修11「認知症の方の怒りの原因を考える」	17人
12	2/25	専門職研修12「怒りのある方への対応」	29人
13	3/1	専門職研修13「認知症ケアと予防に役立つ料理療法」	中止
14	3/3	専門職研修14「パーソン・センタード・ケアを現場に生かす」	中止
15	3/6	専門職研修15「イライラとうまく付き合う介護職になる」	中止
16	3/8	専門職研修16「認知症の人の暴言・暴力を予防する関わり」	中止
17	3/10	専門職研修17「高齢者のレクリエーション」	中止
18	3/11	専門職研修18「認知症に罹患した知的障がい者のケア」	中止
19	3/12	専門職研修19「穏やかで自然な最期を支えるために」	中止
20	3/15	専門職研修20「認知症高齢者が安心できる環境づくり」	中止
21	3/17	専門職研修21「認知症高齢者の残存機能を生かしたBPSDへの対応」	中止
22	3/18	専門職研修22「認知症の人を介護する家族の支援」	22人
23	3/22	専門職研修23「認知症高齢者への作業療法」	10人
24	3/24	専門職研修24「一般病棟における認知症の方に対する取り組み」	4人
25	3/25	専門職研修25「認知症者に対するリハビリテーション」	11人
26	3/29	専門職研修34「認知症の方のBPSDの理解と心理的支援」	16人
計			329人

ウ 学生研修

学生を対象に教育カリキュラムの一部として、認知症高齢者の臨床に係る生活援助の在り方の研修を実施した。

	研修期間	学校名	延人数
1	8/24～9/4	仁愛大学人間生活学部	30人
2	9/7～9/18	仁愛大学人間生活学部	30人
3	11/25	福井県立大学社会福祉学科	1人
4	3/1～3/12	仁愛大学人間生活学部	30人
計			91人

エ 研修等の受入

相互理解・意見交換の場をつくりながら、よりよい連携や顔の見える関係づくりのため、病院見学会を実施した。

	研修期間	施設名等	内容	延人数
1	8/19	ケアマネージャー等	病院見学会	6人
2	8/26	ケアマネージャー等	病院見学会	3人
計				9人

オ 家族介護研修

(ア) 入院患者家族研修

a 外出・外泊時研修

外出・外泊時において、個々に応じたケアの留意点を知ること、家族が入院患者に適切なケアが行え、介護負担が軽減できるよう研修を実施した。

※ 参加者数：(外出時) 87件、(外泊時) 20件

b リーフレット研修

患者家族が認知症に対する正しい知識と理解を得るため、リーフレットを用いた研修を実施した。

※ 参加者数：4,560人

(イ) 外来患者家族研修(外来初診時研修)

在宅での家族介護者に対し、地域での介護・相談窓口・介護保険制度等について助言し、家族の介護力の向上を図ることを目的に研修を実施

※ 参加者数：398人

(ウ) デイケア患者家族研修

患者家族が認知症に対する正しい知識と理解を得るために、リーフレットを用いた研修を実施した。

※ 参加者数：1,697人

② 認知症およびその予防に関する知識の普及および啓発に関する業務

ア 講演会

(日時) 令和2年9月5日(土) 午後2時から4時

(場所) 福井県生活学習館 多目的ホール

(内容) 「認知症の疾患別治療とケア」

(講師) 大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室 教授 池田 学氏

※ 新型コロナウイルスの感染拡大により中止した。

イ 講師派遣

認知症およびその予防に係る知識の普及・啓発を図るため、他機関からの依頼に応じ、院外に講師を派遣し、研修を実施した。

研修日	研修事業名	会場	参加者	講師	
1	7/13	福井大学令和2年度認定看護師教育課程	福井大学医学部看護学科棟	15人	精神保健福祉士
2	8/2	小浜市役所令和2年度小浜市成人大学講座	小浜市今富公民館	41人	作業療法士
3	8/28	和泉地区社会福祉協議会合同研修会	国民宿舎パークホテル九頭竜	13人	看護師
4	9/9	福井県看護協会専門・認定看護師出前講座	福井厚生病院	30人	看護師
5	9/10	福井県看護協会看護職員認知症対応力向上研修	福井県看護協会	43人	看護師
6	9/10	福井県看護協会看護職員認知症対応力向上研修	福井県看護協会	43人	看護師
7	9/28	福井県看護協会看護職員認知症対応力向上研修	福井県看護協会	43人	看護師
8	9/28	福井県看護協会看護職員認知症対応力向上研修	福井県看護協会	43人	看護師
9	10/5	福井県看護協会看護職員認知症対応力向上研修	福井県看護協会	43人	看護師
10	10/5	福井県看護協会看護職員認知症対応力向上研修	福井県看護協会	43人	看護師
11	10/21	福井県看護協会専門・認定看護師出前講座	訪問看護あさがおステーション	10人	看護師
12	10/29	福井県看護協会看護職員認知症対応力向上研修	福井県看護協会	51人	看護師
13	10/29	福井県看護協会看護職員認知症対応力向上研修	福井県看護協会	51人	看護師
14	11/11	福井県看護協会看護職員認知症対応力向上研修	福井県看護協会	51人	看護師
15	11/11	福井県看護協会看護職員認知症対応力向上研修	福井県看護協会	51人	看護師
16	11/13	越前市吉野地区いきいきサロ代表者研修会	越前市吉野公民館	35人	看護師
17	11/19	坂井市丸岡地域包括支援センター研修会	高橋コミュニティセンター	30人	看護師
18	11/19	坂井市丸岡地域包括支援センター相談会	高橋コミュニティセンター	2人	看護師
21	11/25	福井県看護協会看護職員認知症対応力向上研修	福井県看護協会	51人	看護師
22	11/25	福井県看護協会看護職員認知症対応力向上研修	福井県看護協会	51人	看護師
23	11/27	明治安田生命福井支社認知症セミナー	明治安田生命福井支社	150人	看護師
24	12/2	明治安田生命福井支社認知症セミナー	明治安田生命福井支社	20人	看護師
25	12/3	福井市地域包括支援センター相談協力員研修会	福井県自治会館	45人	看護師
26	12/4	明治安田生命福井支社認知症セミナー	越前市文化センター	26人	看護師
27	12/10	大滝病院看護部研修会	大滝病院	30人	看護師
28	12/22	令和2年度福井大学医学部精神医学研修会	福井大学医学部附属病院	20人	医師
29	2/19	坂井市高齢福祉課認知症ステップアップ講座	東十郷コミュニティセンター	20人	看護師
計			1,051人		

③ 認知症高齢者に関する相談および指導に関する業務

区分	件数
受診相談	516件
外来相談	13件
電話	1件

(2) 認知症カフェ「心愛」運営事業

ア 実施内容

認知症に不安を感じている方、軽度認知障害の方、その家族および地域住民等に対して、他者との交流の場であったり、病気や介護の悩みを打ち明けたり、楽しい雰囲気の中での創作活動などといった諸活動を行う場として、認知症カフェ「心愛」を運営した。

その内容としては、茶菓の提供、歓談、趣味活動（囲碁、将棋、編み物等）、散歩、体操、脳トレ、介護の悩み相談等を行うものである。

イ 開催日時、場所

(日時) 毎週土曜日、午前10時から午後3時まで

(場所) 福井市湊3丁目1010 ループヤシロビル1階

ウ 実績

開催回数 13回

利用者数 延べ99人

4 財団の運営に関する業務

(1) 評議員会の開催

	開催日・場所	議 題
第1回	令和2年6月9日 書面同意	・令和元年度事業報告および財務諸表について ・理事および監事の選任について ・評議員の選任について ・評議員会長の選任について
第2回	令和3年3月29日 書面同意	・理事の選任について

(2) 理事会の開催

	開催日・場所	議 題
第1回	令和2年4月1日 書面同意	・理事の選任について
第2回	令和2年5月19日 書面同意	・令和元年度事業報告および財務諸表について ・伊藤前副理事長の退職手当の支給について ・評議員会への提案の件について
第3回	令和2年6月9日 書面同意	・代表理事（理事長）の選任について ・代表理事（副理事長）の選任について
第4回	令和3年3月16日 当病院内	・令和2年度一般会計収支補正予算（案）について ・令和3年度事業計画（案）および一般会計当初予算（案）について ・各種規程の改正について ・評議員会の決議の目的である事項の提案について

(3) 人事制度の改正

ア 対象となる規程

(ア) 改正

就業規則、給与規程、退職手当支給規程、組織規程

(イ) 新規策定（就業規則に付随する規程）

嘱託職員雇用管理規程、ハラスメント防止規程、職員等懲戒規程、年次休暇の積立休暇制度規程

イ 背景

高齢化がますます進行し、労働力人口が減少化していく中で、働き方改革により、雇用情勢が大きく転換期を迎えており、当財団においても、優秀な人材の確保や定着が今まで以上に求められていることから、就業規則等の各種規程の見直しが必要となっている。

このため、外部のコンサルティング会社を交えて様々な検討を重ね、職員が安心して働くことができる環境を最大限配慮した各種規程の策定および改定を行うものである。

ウ これまでの問題点

(ア) 60歳定年以降の再雇用者の処遇が未整備である。

(イ) 退職金制度（平成22年度改正）について、県内の企業等の状況と比較すると、抑えた設定になっている。

(ウ) 同一労働、同一賃金への対応が不十分である。

(エ) 労働力人口の減少による高騰する採用マーケットへの対応が必要である。

エ 内容

(ア) 嘱託職員雇用管理規程

65歳まで以下の5コースによって処遇を決定する（1年契約）。

また、55歳以上は昇給を停止する。

勤務形態	コース	条件等	賃金体系
常勤職員	R1コース	更新条件達成+夜勤月4回以上	日給月給制
	R2コース	更新条件達成+夜勤月1~3回	
	R3コース	更新条件達成+夜勤無	
非常勤職員	P1コース	社会保険加入勤務	時給制
	P2コース	社会保険非加入勤務	

※ 高年齢雇用安定法においては、65歳までの継続雇用が義務化されているが、その処遇を定年前と同一の内容で行うことまでは求められていない。

このため、定年前の勤務の状況を確認して、特に問題なしと判断された場合は常勤職員として雇用を継続するが、問題ありと判断された場合は非常勤職員として採用する。

(イ) 退職手当支給規程

中小企業退職共済（中退共）で運用しており、県内の企業等の状況と比較して、同程度に引き上げる。

なお、引上げに当たっては、現行制度が始まった平成 22 年に遡及して中退共の掛金を見直すこととし、さらに、60 歳に定年退職した職員で定年時点で勤続 20 年以上の場合には、定年時加算として 1 割増とする。

(ウ) 就業規則、給与規程、ハラスメント防止規程、職員等懲戒規程

就業規則については、同一労働同一賃金への対応および嘱託職員雇用管理規程の策定による改定を実施した。具体的には、正職員と非正規職員との間に大きな役割の差等があることから、各種規程を一本化するとともに、ハラスメントや懲戒を定めた規程を新たに策定する。

給与規程については、上記内容に加え、嘱託職員用の給料表を作成し（職員給料表号俸に応じて 0% から 40% 程度カット）、住居手当、扶養手当の支給要件を明確化する（住民票、配偶者等の所得証明書等の添付等）。

(エ) 年次休暇の積立休暇制度規程

多くの職員が安心して長く働くことができる環境を整備する必要があるため、「積立有給休暇制度」を創設した。

具体的には、長期入院時や退院後の治療通院等において活用することができるよう、年次休暇の時効消滅分（2 年超は時効で消滅）を消滅させることなく、最大 30 日分を保有することができるものとした。

(オ) 組織規程

管理職呼称の変更による改正を行った。

オ 施行日

令和 3 年 4 月 1 日

(4) 固定資産取得

(什器備品の購入)

リクライニング車椅子	4 台
体表面温度計	1 台
R I 室エアコン	一式
東病棟ダイルームテレビ	一式
給与システム	一式